



さくく風

【学校教育目標】 自ら学ぶ意欲と 豊かな創造力をもち たくましく生きる



同じ方向を向いて～「子どもの成長」のために～

校長 上野 精嗣



「生徒指導」ということばに嫌悪感や忌避感を持っている方は多いのではないのでしょうか？義務教育のくくりでも、小学校と中学校の先生の方考え方や方法に違いがあり、特に中学校の生徒指導については、威圧的・高圧的、理不尽で時に体罰もあるイメージをお持ちの方も少なくないと思います。私が中学生の頃を思い出しても、先生からとても厳しく指導されました。今では「話盛っているだろう！」とか「ネタか？」と言われる程です。

現在はどうでしょう？一人ひとりのウェルビーイングと、持続可能な社会の構築に向け、昔と比べ、誰もが尊重されるととても優しく寛容な社会になってきていると思います。教員の体罰は厳格に禁止され、家庭でも躰と称して手をあげることも禁止されています。これは、とても良いことだと思います。

一方、近年は、子どもたちの中に「叱られる」「注意される」といった経験が少ないまま成長している傾向が見られます。社会全体が寛容さと優しさを大切にする一方で、他者から厳しく指摘されたり、自分の行動を省みたりする経験が乏しいまま中学生となるケースが増えています。そのため、学校での指導に対して強い抵抗感や戸惑いを示す生徒、またその姿を見て不安を感じられる保護者の方もいらっしゃいます。

しかし、学校での生徒指導とは、単に「叱る」ことや「罰する」ことではありません。**生徒一人ひとりの成長を願い、社会の一員として責任を果たせる人間に育ててほしいという思いのもと、多くの教職員が多面的・多角的な視点から関わっています。**学級担任だけでなく、学年、生徒指導担当、部活動顧問、養護教諭、スクールカウンセラーなど、すべての教職員・関係者が連携しながら、時間をかけて生徒を支え、育てています。学校は一人の教師の判断だけで動く場所ではありません。生徒の言動や背景を丁寧に受け止め、共通理解のもとで指導を進めています。



その中でも特に「いじめ」については、決して見過ごすことができない重大な問題です。いじめは、相手の心と尊厳を深く傷つけ、人としての信頼関係を壊します。いじめを「冗談」や「軽いからかい」として済ませることはできません。**学校では、いじめを「絶対に許さない」という強い姿勢で、未然防止と早期発見・早期対応に努めています。**特に、子どもたちが互いを思いやり、相手の立場に立って考え、言葉や行動を選ぶ力を育てることを重視しています。



こうした指導を実効あるものにしていくためには、**学校と家庭が同じ方向を向き、信頼関係を築いていくことが不可欠**です。子どもたちは学校での生活だけでなく、家庭での会話や保護者の言葉の影響を強く受けています。もし学校から指導の連絡があった場合には、「うちの子が悪いことをしたのか」と構えるのではなく、「子どもが成長するための機会」と前向きに受け止めていただければ幸いです。そして家庭でも学校の指導と歩調

を合わせ、子どもに寄り添いながら一緒に考え、支えていただきたいと思います。

私たちは、子どもたちの可能性を信じています。**失敗やつまづきは成長の通過点**です。だからこそ、間違いを正し、より良い方向へ導くことが学校の責務であり、教師の使命だと考えています。厳しさの中にも温かさを忘れず、一人ひとりの生徒が安心して自分らしく成長できる学校づくりを、これからも教職員一同、全力で進めてまいります。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



最新の情報は[こちら](https://shikaoi.ed.jp/)（鹿追町幼小中高一貫教育サイト）

または <https://shikaoi.ed.jp/> または QR コードから

※ I B通信のバックナンバーをご覧くださいことができます。

※ 町内各校の行事等の様子もご覧くださいことができます。



文化祭が行われました



多くの保護者・地域の皆様のご参観をいただきながら、無事に鹿追中学校文化祭が開催されました。学年ごとに磨き上げてきた合唱、1～3年生が力を合わせた各委員会による活動や発表・展示、吹奏楽部による素敵な演奏など、限られた時間ではありましたが生徒たちの頑張る姿をご覧いただけたかと思います。開催にあたりご協力いただきましたみなさま、ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました。

学校評価アンケートから

多様な才能・能力を活かす教育の推進	1	学校教育目標「自ら学ぶ意欲と豊かな創造力をもちたくましく生きる」の実践 10名の生徒が「あまりそう思わない」と答えています。また、3名の生徒の「課題が多い」にも着目していきま す。保護者からも13名が「あまりそう思わない」、2名の方が「課題が多い」と答えています。生徒の学ぶ意欲を 引きだし、主体性を持たせるため、授業の取り組み・ユニットプランナーを抜本的に見直す必要を感じます。全教職 員でこのアンケート結果を踏まえ自身の取り組みを見直すきっかけとしていきます。
	2	生徒の主体性を育む教育の実践 保護者、生徒、教員も多くのパーセンテージでそのようにできていると捉えています。一方であまりそのようにで きていないと感じている生徒も一定数おり、達成感を感じられなかったり、実践に至らないケースもあることがわか ります。また、教師の中でも課題と捉えている部分があります。
	3	生徒一人一人のニーズに合わせた学習環境の提供 様々な学習スタイルを経験する中から、自分自身でテーマを設定し、考えたりまとめたりする中から、自分に 合った学びづくりを確立しようとする姿が伺えます。生徒アンケートでも「自ら学習課題を設定し、問題を解決して いる」意識の高さが現れています。また、教室に入りにくい生徒へもSSルームの利用や関係機関と連携するなどそ れぞれの困り感に応じた学びの提供を行っています。
	4	生徒の学びを支援する取組の実践 多くの授業で複数人で授業を行ったり、学級を2つに分けて少人数で授業を行うことで、個々の学習を支援する体 制をとっています。生徒のつまずきや疑問に対しタイムリーに声をかけることで、立ち止まることなく学びを前に進 めさせる効果があるものと考えます。これにより「自分に合った学習方法がわかる」ことや、「学習の内容がわか る」という気持ちの高まりにつながっているものと考えます。今後も様々な学びの中で、生徒の学び支援する関わり を充実させたいきます。
	5	めざす学校像「一人一人が生き生きと活動し、鹿中生でよかったと思える学校」の実践 日常的な授業や学級での活動、生徒会活動、各種行事、部活動などの校外活動といった多様な場面で、一人一人が 活躍を実感できるような機会を今後も設けていきます。鹿中ならではの探究的な学習を通して、自分の興味関心を広 げ、主体的な取組を行なっています。「授業中騒がしく集中できない」という意見もいただいています。今後はさ らに中学生としての自覚を持たせ、全生徒が気持ちよく有意義な学校生活が送れるようにしていきます。
地域や社会とつながりをもつ教育の推進	6	安全・安心な学校づくりの実践 学校に来るのが楽しい、困った時に大人に相談できると肯定的に答えている生徒が大半を占める中、学校が楽しい とは言い切れなかったり、ネガティブなイメージを抱えている生徒もいます。生徒間のトラブルもある現状から、教 師が積極的に生徒に関わったり、コミュニケーションをとれる関係性を構築していきながら、より安心できる環境を 整えていきます。
	7	豊かな人間性を育む教育の実践 探究的な学びを幹とするカリキュラムを開発する中で、豊かな人間性を「10の学習者像」として具体化しまし た。そして、あらゆる学びの場面にこの10の学習者像を紐づけた教育活動を進めております。振り返りの場面にお いて積極的にその伸長度合いを生徒と確認するなど実践を通して着実に理解が進んできています。次年度以降も更に 効果的な活用を目指し、生徒の豊かな人間性を育む環境づくりに努めます。
	8	地域（外部）の人材・教育資源等を活用し、生徒の学ぶ意欲を高める取組の実践 SA（サービス・アズ・アクション）やCP（コミュニティ・プロジェクト）の取り組みで、生徒が自ら設定した 課題を解決するために、関係機関に電話やメール等で直接連絡を取り合う学習を行いました。これに対し、あたたか く丁寧に対応していただくことで生徒の学びが地域社会に支えられているものであることを実感することができまし た。今後も防災学校や保育実習などより多くの地域資源を活用させていただき、持続可能な形で生徒の学びを支え る環境を整えていきたいと考えています。
	9	目配り、気配り、心配りができる生徒を育む教育の実践 生徒・保護者の皆様とも肯定的なご回答が多かったものの、否定的な回答があることも事実です。今後も「一人 一人が生き生きと活動し、鹿中生でよかったと思える学校」づくりのため、生徒主体の教育活動の実践を一層推進しま す。そのために、学校が安全で安心できる居心地の良い場所となることで、生徒自身が自己存在感を高め自己決定で きるよう、全教職員で支えます。
	10	教育活動や子どもの成長・変容をわかりやすく発信 今後も、本校の教育活動や生徒の成長・変容をタイムリーにわかりやすくお伝えするため、マチコミ（タイムライ ン）、鹿追町幼小中高一貫教育サイト、学校・学級・進路通信等を引き続き活用いたします。しかし、写真撮影及び データに対し厳重かつ慎重な管理が求められていることから、これまでのような頻度の提供が難しくなることが考え られます。また、通信等は、データでの配信を基本に、必要に応じて紙媒体での配付を行う対応としていきます。

お忙しい中、たくさんのご回答をいただきありがとうございます。また、保護者のみなさ
まからの自由記述欄には、以下のようなお声もいただきました（一部略・重複はまとめ）。み
なさんからのお声を受け止め、今後の教育活動の改善につなげていきます。

- ④授業中うるさ過ぎて集中できないようでストレスが溜まっている。
- ④グループに分かれて授業を行う際に、上手いかないのも経験になりますので、否定から入らない等、最低限のルールを意識させていただけると嬉しいです。
- プリント類の電子化を進めていただけると助かります。見やすい上に資源の節約になると思います。
- ④陰口がツライと伝えてきます。
- ④いつ单元テストがあるのか子どもが言わない限りわかりません。どんどん成績が下がってしまいそうで不安です。
- ④親身になって指導していただき、感謝しています。ただ、一部の言動は心を痛めております。子どもから信頼される言動、向き合い方を学校全体で考え、共有していただけるとありがたいです。
- ④約束の時間に行ったんですが、連絡無しに不在はあり得ません。



PTA環境整備作業実施

10月18日、PTA環境委員会のみなさまを中心に、校舎周辺の環境整備作業に多くのご協力をいただきました。落ち葉・枯れ枝を集めたり、花壇の撤去など、冬を迎える準備を行うことができました。

今年度の整備作業は今回で一段落となりますが、来月の町PTA連合会研究大会への参加など、引き続きPTA活動にご協力いただければ幸いです。今度ともよろしく願いいたします。

11月の行事予定

- 5日 専門委員会
- 6日 学力テスト（全学年）
- 6日～十勝子ども大会作品展示（～9日）
- 7日 進路説明会（16:00）
- 8日 十勝子ども大会
（演劇発表・清水町、意見発表・幕別町）
- 8日～常広の森スピードスケート競技会（～9日）
- 10日～国際バカロレア確認訪問（～11日）
- 13日 CP発表会（3年生）
- 13日～三者面談（3年生）
- 14日 二計測（4校時）
- 15日～全十勝シングルス大会（庭球・～16日）
- 19日 移動図書（13:10）
- 20日 町PTA連合会研究大会
- 22日～全十勝中学校スピードスケート選手権大会（～23日）
- 23日 全十勝インドア大会（庭球）
- 28日 町一貫教育研究大会兼十勝放送教育研究大会
- 29日～全十勝1年生大会（籠球・～30日）
十勝オーバルスピードスケート競技会第3戦（～30日）

※年間行事予定表とあわせてご確認ください。

演劇発表は9時45分～

@清水町文化センター

意見発表は13時～（11番目）

（鹿追町代表・2年央戸さん）

@十勝教育研修センター（幕別町）

どなたでも参観可能ですので
ご都合の付く方はぜひ来場を！

先日、マチコミにてご案内を

お送りさせていただきました。

多くのご参加をお待ちしています！

鹿中生の活躍 ～中体連大会等から～

○十勝オーバースピードスケート競技会第2戦 (10/11～)

男子

植田 柊羽真 3000m 4.57.90
5000m 8.38.46

女子

高橋 希乃花 1500m 2.26.05
3000m 5.16.59

○インドアソフトテニス大会十勝地区1次予選会 (10/12)

戸戸・鈴木組 ブロック優勝
杉山・國枝組 ブロックベスト4
佐々木・若林 (帯五中) 組
ブロック1回戦敗退
山本・中村組 棄権

○1年生団体王座予選会 (ソフトテニス・10/18)

佐々木・畠 (帯五中) 組 1回戦敗退

○全十勝秋季大会 (10/18～)

バレーボール【第3位】

鹿追・芽室西中 2-0 帯五中
鹿追・芽室西中 2-0 芽室中
鹿追・芽室西中 1-2 下音更中

バスケットボール

鹿追町拠点校 47-70 帯四中

柔道

男子個人戦

伊藤 佑和 81kg 以下級 優勝
東野 大翔 60kg 以下級 優勝

男子団体戦

鹿追中 0-3 清水中

○新得地方地域安全標語コンクール (10/30 表彰)

中学生の部

銅賞 亀井 久遠
「大事な の スマホと命 どっちかな」
佳作 中野 駿・鈴木 万結
千葉 凱遥

○吹奏楽部定期演奏会 (10/26)



10月26日、市民ホールにて多数の観客の皆様をお迎えし、実施することができました。3年生はこれで活動に一区切りすることになります。ご協力・ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

写真の撮影及び使用について

いつも各種通信・HP・マチコミ等をご覧いただきありがとうございます。これらで使用させていただく写真は、学校が許可した校務用端末・または管理職員による撮影によるものであり、撮影した写真は教育目的以外には使用しません。